

収入編

(一般会計予算)

那覇市の収入には、市税や国と県からの収入、銀行等からの借り入れや施設の使用料などがあります。

那覇市の一般会計予算（1年度間の収入）

項目	金額(単位:千円)
市税	40,670,763
分担金及び負担金など	3,185,792
使用料及び手数料など	5,366,353
市債	10,219,518
繰入金	3,425,276
地方譲与税 地方消費税交付金など	661,194 3,613,021
地方交付税	15,413,203
国・県支出金	45,532,880
計	128,088,000

$\frac{1}{20000}$ に置き換えて・・・

那覇市の収入(歳入)予算を家計簿に例えてみました!

那覇市の平成25年度の一般会計予算は、1,280億8,800万円です。数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで、「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな収入があり、普通の家と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてわかりやすくしてみました。)

なは家の家計簿

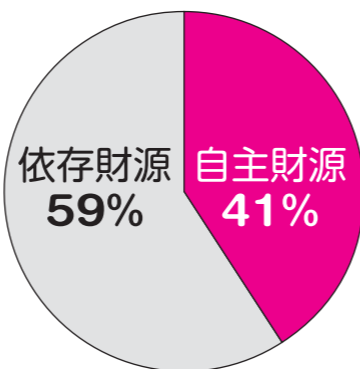
(1年間の収入状況)		なは家の家計簿(収入)の特徴
収入項目	金額(万円)	
基本給与	203	年間の収入は、決して低いとは言えません。 しかしながら、その実状は、親からの仕送りに頼っていることがはっきりしています。また、銀行からの借り入れや預金の取り崩しを毎年のように行っています。 今後は、親からの仕送りは減っていくことが考えられます。預金もそんなに多くは残っていません。基本給与や諸手当及びパート収入の増に努めたいところです。 また、収入が減っていくことが予想されるので、支出を抑えていくことが必要だと考えます。
諸手当	16	
パート収入	27	
銀行からの借り入れ	51	
預金の取り崩し	17	
親からの仕送り	98	
親から特別にもらう仕送り	228	
計	640	

支出(歳出)予算の家計簿は、p12に掲載しています。

那覇

市の一般会計予算の

- ・約**41%**が市税などの自主財源の収入です。
- ・国からの交付税などの依存財源は約**59%**です。



ここがポイントです

【自主財源】

市が自主的に収入しうることのできる財源です。
市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入などが該当します。

【依存財源】

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当します。

自主財源の比率が大きいことが大切です。

那覇市の市税収入は、増えているの？減っているの？どっち？おしえて！

那覇市の収入の根幹である「市税」収入は、平成23年度決算で409億5,225万円と、前年度に引き続き400億円を超えました。収納率も93.2%で初めての93%超えとなりました。また収入額も前年度決算額より、約6億4千万円増えています。また、平成25年度予算額においても、406億7,076万円を見込んでいます。

市税収入には、主に個人市民税、法人市民税、固定資産税などがあります。平成23年度決算では、前年度に比べ約6億4千万円増加しています。主な内訳では、市民税が約3億3千万円の減となっているものの、固定資産税が約4億3千万円、市たばこ税が約5億円の増などとなっています。

また、市税の納付率については、平成17年度の90.6%から平成19年度には91.8%で、年々向上してきました。平成20～21年度は、景気悪化の影響により、91.7%となり0.1%減少しましたが、平成22年度は92.3%、平成23年度は93.2%となり初めて93%を超えました。

年度	収入額	納付率
平成17年度	346億8,417万円	90.6%
平成18年度	364億5,897万円	91.3%
平成19年度	387億9,400万円	91.8%
平成20年度	396億1,958万円	91.7%
平成21年度	391億3,926万円	91.7%
平成22年度	403億1,108万円	92.3%
平成23年度	409億5,225万円	93.2%
平成24年度	405億7,210万円	
平成25年度	406億7,076万円	

(注)平成23年度までは決算額、平成24、25年度は予算額です。

節約って大事なのニャ

